+

＜令和3年7月発行＞

**市民クラブ市政報告**

発行：姫路市議会市民クラブ　　姫路市安田四丁目１番地　　☎：079-221-2042　　編集責任者：竹尾　浩司



駒田かすみ

<予算決算委員会委員長>

石堂大輔

<総務委員会委員長>

竹尾浩司

<幹事長>

八木隆次郎

三輪敏之

蔭山敏明
<建設委員会副委員長>

常盤真功

阿山正人

<会長>

山口悟

<政調会長>

お世話になります。

皆様にご支援・ご支持頂き活動を進めております、『姫路市議会　市民クラブ』の仲間です。

今後ともご支援のほど、よろしくお願いします。

今回は、『正副議長選挙結果及び、市民クラブ会派役員・常任委員会の変更』、『不当要求議員が関わる事業の真相を究明する特別委員会の中間報告』、そして6/3～6/28までの26日間で開会された『令和3年度第2回姫路市議会定例会での個人質問』についてご報告致します。

**Ⅰ.姫路市議会正副議長選挙結果及び、市民クラブ会派役員・常任委員会の変更について**

【議長】：萩原唯典　議員　（新生ひめじ）　　　　　　　　　　　　　【副議長】：山崎陽介　議員　（公明党）





**石堂大輔議員　副議長お疲れ様でした**

**Ⅱ. 『不当要求議員が関わる事業の真相を究明する特別委員会』の中間報告について**

令和3年3月26日に開催された初委員会以降、合計9回、委員会を開催し調査を続けてきました。今回、中間報告の内容について報告します。

『松岡議員の行為が、不当要求行為等に該当される可能性があるため「浜手緑地・白浜地区の公園整備」等について、議会としての自浄作用を一層働かせるため、地方自治法第百条の調査権を持って、更なる調査が必要であるとの結論に至りました。

また、白浜・糸引・八木地区における工事等発注状況の審査過程で、当該地区には条件に合致する業者が、数多く存在しているが、複数の特定業者が突出して受注している実態が判明しました。競争性・公平性・経済性を欠いており、適正な契約行為の執行という点に重大な疑義が生じているため、監査委員に対し、監査及びその報告を求めるべきであるとの結論に至りました。』今後さらに、真相究明に努めて参ります。

**Ⅲ. 姫路市教職員組合からの請願について**

姫路市教職員組合から提出された請願『義務教育費国庫負担制度の堅持、および負担率「二分の一」への復元と、三〇人以下学級の実現を求めることについて』全会派賛成で採択され、要望書を関係先へ送付することが確認されました。

**Ⅳ.『令和3年第2回姫路市議会定例会』での個人質問について**

**新型コロナウイルス感染症対策等について**

**市民の代弁者として質す！**

**竹尾浩司議員が質問しました**

**【個人質問：質問日 6/11】**

本定例会にて、２項目について個人質問しました。『新型コロナウイルス感染症への対策について』と『手柄山中央公園再整備について』ご報告します。

●新型コロナウイルス感染症への対策について

Q: 自宅療養者・入院待機者について保健師等の巡回チームの体制に問題なかったのか？

A: 在宅療養サポートチームは、保健所や本庁等の保健師で1チーム2名4組とチームリーダー1名の計9名で活動し、ピーク時には、1日20～30件の訪問を行いました。しかしながら、保健所の体制では第4波での患者対応が精一杯の状況で、感染者数がさらに急増いたしますと、訪問診療や訪問看護との連携がより一層求められることから、医療機関や訪問看護ステーション等とのさらなる体制整備が必要と考えております。

Q:ワクチン接種については重度障害者への優先接種が必要ではないか。また、台風等悪天候時の集団接種体制はどうなるのか？

A: 7月末までの供給量の見通しが立っていることから、重度の心身障害者に限らず全ての優先接種対象者が接種を早期に受けられるようにしてまいりたいと考えております。集団接種会場における荒天時の本市の対応といたしましては、原則として、警戒レベル3、高齢者等避難などの避難情報を発令する段階であれば、市内全域の集団接種は中止いたします。

●手柄山中央公園再整備について

Q: 新しい体育施設に採算の見通しが立たない飲食店やコンビニエンスストアの設置が必要なのか。

A: 手柄山スポーツ施設整備運営事業におきましては、現在の総合スポーツ会館の機能を移転することを基本としており、可能な範囲で現施設の課題を改善し、利用者の要望を反映させていくこととしております。その際、現在の総合スポーツ会館にはコンビニエンスストアは休止中でございまして、さらに飲食店はありません。新たな施設については、施設利用者からコンビニエンスストアの継続や飲食店の設置について強い要望があったため設置を必須としたものでございます。

Q: 入札公告の遅れとコロナ禍に配慮した事業スケジュール見直しの必要性について

A: 実施方針及び要求水準書の案については本年1月8日に公表するなど、早くから情報を提供しており、参入を検討している事業者においては、既に準備等に着手していると仄聞しています。入札公告は20日程度遅れましたが、要求水準書等につきましては、事業者の意見や要望等を取り入れた内容に改定し、当初より参入しやすい要求水準書になったと考えていますので、現時点におきましては提案期間の延長等は考えておりません。

**市立小中学校における熱中症対策等について**

**市民の代弁者として質す！**

**常盤真功議員が質問しました**

**【個人質問：質問日 6/14】**

本定例会にて、12項目について個人質問しました。『市立小中学校における熱中症対策について』、『聴覚障害者への情報発信について』、『臨港道路広畑線4車線化事業について』、『自転車通行空間の考え方について』の4件についてご報告します。

●市立小中学校における熱中症対策について

Q:市立小中学校各校にウォータークーラー1台ずつの設置を進めているが、児童数生徒数を反映した設置台数にすべきではないか。

A:家庭からの飲み物の持参が基本と考えている。ウォータークーラーは、補完的な水分補給手段として用意するものである。このため、多数の児童生徒が同時集中的に利用することはあまり想定せず、当面は各校1台ずつの設置とし、今後の利用状況の把握に努める。

●聴覚障害者への情報発信について

Q:伝わらなければ重要性も判断できない。姫路市から配信される市長や市の動画全てにおいて、手話通訳や字幕による丁寧な対応が必要ではないか。

A:市長からの重要なお知らせや市長会見などの動画配信については、必ず字幕を入れるようにしている。

今後、市長会見などのほかにも手話通訳者や字幕を適時適切に活用し、聴覚障害者の方にとっても伝わりやすい、分かりやすいを心がけながら、適正な情報発信に努める。

●臨港道路広畑線4車線化事業について

Q:車・バイク・自転車・歩行者が行き交う臨港道路広畑線の4車線化が進むと、渋滞が解消する一方で、車・バイクの平均速度が上がるため、積極的な安全対策が必要ではないか。

A:臨港道路等の整備により、物流機能が向上し、企業立地が進むことで、交通量も増加し、安全への配慮が一層必要になるということは十分認識している。

今後、国や県に対し、本整備事業の着実な推進とともに、広畑地区周辺における、利用者の安全性の確保にも一段の配慮するよう要望する。

あわせて、接続する市道の整備についても、県等の関係機関と連携し、渋滞緩和や必要な安全対策を図っていく。

●自転車通行空間の考え方について

Q:自転車は「車両」に分類され、車道通行(車道の左側通行)が原則となっているが、今後の道路整備と安全・快適な自転車通行の環境整備をどのように考えるか。

A:特に都市計画道路の広い自転車歩行者道について、路線ごとに歩道幅を縮小し、自転車通行帯との分離を図る整備をいつの時点から、どのような計画で展開できるかを検討する。